

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		コミュニティ創生の推進										個別事業 掲載No	生	—	1																								
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>地域が抱える現代的課題について、住民同士による新たな「共助」と「協働」により、地域で解決していく「コミュニティ創生」の取組について調査・検討（内容①エリア・スタディ（井の頭地域）②スポーツを通じたコミュニティの創生③地域と学生との連携）を行う。「がんばる地域応援プロジェクト」を活用し、町会などの地縁型組織とNPOなどのテーマ型組織との連携による新たな協働関係の創出や、町会・自治会の未組織地域における地域自治組織の結成を支援する。また、住民協議会が実施する多世代交流事業などコミュニティ創生に向けた事業や地域の活性化につながる事業に対して支援を行う。</p> <p>【事業量】</p> <p>・コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム会議の開催（4回）・コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム報告書の作成・がんばる地域応援プロジェクト事業の実施（説明会・選考委員会等）・住民協議会活性化事業支援助成金の交付</p>																																					
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	<p>← <コミュニティ創生>プロジェクト・チーム、ワーキング・チームによる活動 →</p> <p>← <がんばる地域応援プロジェクト> →</p> <p>← 説明会、募集、選考委員会の実施 発表会、交流会の実施 →</p> <p>← <住民協議会活性化への支援>推進 →</p> <p>← 報告書作成 →</p> <p>← 事例集作成 →</p> <p>← 採択事業の実施 →</p>																									
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム報告書の作成 ・がんばる地域応援プロジェクト事例集の作成 ・各住区のコミュニティ活動の活性化及びコミュニティ・センターの利用者増加 																																					
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>コミュニティ創生検討プロジェクト・チームの活動については、6月14日に第1回会議を開催し、①エリア・スタディ（井の頭地区）、②スポーツを通じたコミュニティの創生、③地域と学生との連携、以上3つのテーマでワーキング・チームによる調査・研究を実施することが決まった。</p> <p>がんばる地域応援プロジェクトについては、4月15日に説明会（参加者36人）、7月8日に選考委員会（参加者50人）をそれぞれ開催した。なお、今年度は15団体の応募があり、選考の結果、全団体が採択となった。</p>																																					
	事業評価審査会特記意見	<p>重点事業とする。</p> <p>政策会議 評価・意見等</p>																																					
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																																	
事後評価	実績	<p>【コミュニティ創生の研究】コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム会議の開催（3回）、ワーキング・チームの開催（活動9ヶ月間）、コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム報告書の作成</p> <p>【がんばる地域応援プロジェクト】説明会の開催、選考会の開催、発表会・交流会の開催、事例集の作成</p> <p>【住民協議会活性化への支援】住民協議会活性化事業支援助成金の交付</p>																																					
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	<p>← <コミュニティ創生>プロジェクト・チーム、ワーキング・チームによる活動 →</p> <p>← <がんばる地域応援プロジェクト> →</p> <p>← 説明会、募集、選考委員会の実施 発表会、交流会の実施 →</p> <p>← <住民協議会活性化への支援>推進 →</p> <p>← 報告書作成 →</p> <p>← 事例集作成 →</p> <p>← 採択事業の実施 →</p>																									
	事業の成果（実績）	<p>【コミュニティ創生の研究】プロジェクト・チーム会議の開催（※当初計画では4回を予定していたが、活動内容を鑑み、3回の実施となった。）、ワーキング・チームの実施（メンバー24人※うち5人住民協議会事務局職員）、報告書の作成</p> <p>【がんばる地域応援プロジェクト】実施団体15団体、事例集の作成・配布（1,500部）</p> <p>【住民協議会活性化への支援】コミュニティ・センター利用者数は、前年度比2万4,506人増の674,369人、多世代交流事業への助成金交付（30万円）</p>																																					
	事業の総括（主管課）	<p>コミュニティ創生検討プロジェクト・チームにおいて、3つのテーマを設定し、ワーキング・チームによる調査・研究を実施した。引き続き、新たなテーマ等について調査・研究を進める。</p> <p>がんばる地域応援プロジェクトは、今年度も引き続き町会・自治会の未組織地域を含めた地域自治組織を対象とし、15団体が事業を実施した。発表会や交流会における団体間の情報交換や連携事業の増加など本事業をきっかけとして地域同士が新たな活力をもたらしていることからPRに努めていく。</p> <p>また、昨年度に引き続き、井の頭地区住民協議会が実施する「多世代交流事業」に助成金を交付し、住民協議会活性化事業の支援を行った。次年度以降も引き続き支援を行っていく。</p>																																					
	事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">予算執行</th> <th colspan="3">29年度当初</th> <th colspan="3">29年度実績</th> </tr> <tr> <th>予算額</th> <th colspan="2">2,441千円</th> <th>決算額</th> <th colspan="2">2,005千円</th> </tr> <tr> <th>執行率（%）</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">82.1%</th> </tr> <tr> <th colspan="6"></th> </tr> </thead> </table>														予算執行	29年度当初			29年度実績			予算額	2,441千円		決算額	2,005千円		執行率（%）			82.1%							
予算執行	29年度当初			29年度実績																																			
	予算額	2,441千円		決算額	2,005千円																																		
	執行率（%）			82.1%																																			
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																																		

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		都市農業の推進及び農地保全の取り組み												個別事業掲載No	生 — 2					
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>「農のあるまちづくり」を推進するため、新鮮な農産物の供給をはじめ、緑と空間の創出、災害時等の避難場所確保等の多面的な機能を有する都市農地の保全と利用の推進、並びに、農業用機器等の購入支援及び市内飲食店や学校等での市内産農産物活用による地産地消の推進等の魅力ある都市農業の育成などに取り組む。</p> <p>また、親子で収穫体験等を行う都市農業を育てる市民のつどいなど、市民が農とふれあう交流事業等を開催し、都市農業の役割について理解を深める取り組みを行う。さらに改正農業委員会法や都市農業振興基本法について検討し、的確な対応を図る。</p> <p>【事業量】・優良農地育成事業補助の実施 12件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物獣害対策地域強化推進事業の実施～啓発パンフレット作成及び講習会の開催 ・農業委員会委員の改選 (20人) ・都市農業を育てる市民のつどいなどの開催 																		
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	<p>○優良農地育成事業補助 →</p> <p>○農作物獣害対策地域強化推進事業 →</p> <p>○農業委員会委員の改選 議会承認(6月) 任命(7/20) →</p> <p>○都市農業を育てる市民のつどい ○芋煮会</p>						
	事業の成果(目標)	<p>・農産物等の生産性の向上と近代化 ・獣害被害への意識向上 ・市民への都市農業の理解促進</p>																		
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>優良農地育成事業補助は、補助金総額が予算範囲内に収まるように調整し、予定より8件増の20件に補助金を交付した。農作物獣害対策地域強化推進事業は、農業者向けパンフレットを作成し、10月に農作物獣害対策講習会を開催する予定である。また、台風接近で中止した現地調査指導は、再度調整する。農業委員会委員の改選は、6月市議会で任命議案が可決成立し、7月20日に市長の任命により、新委員の活動を開始した。都市農業を育てる市民のつどいのブルーベリーと夏野菜の収穫体験は親子33組80人の参加により実施し、イモ煮会と収穫体験は、11月18日に実施予定である。</p>																		
	事業評価審査会特記意見	<p>三鷹市農業振興計画2022の改定にあたっては、関連法制の改正等を注視するとともに、市民理解のもと都市農地の維持・保全に努めることが望ましい。</p>				<p>政策会議 評価・意見等</p>				<p>重点事業とする。 農業振興計画については、市の役割を含めた改定の進め方について調整を図ること。</p>										
	主管課評価	1	事業評価審査会評価				1	<p>1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする</p>												
事後評価	実績	<p>①優良農地育成事業補助20件の実施(管理機、培土機、チッパー、スピードスプレーヤー、トラック、バックホー、農作物自販機、防鳥柵、トラクター、ビニールハウス、耕運機、動噴機、野菜半自動移植機、灌水装置の導入補助)及び事業申請者と63,813.99㎡の農地保存協定を締結、②農作物獣害対策地域強化推進事業の実施(三鷹市鳥獣被害対策マニュアル1,500部作成・配布、農作物獣害対策講習会(座学1回・現地巡回指導2回)開催)、③農業委員会委員の改選(20人)、④都市農業を育てる市民のつどい(親子33組80人)及び収穫体験と芋煮会(約230人)開催</p>																		
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	<p>○優良農地育成事業補助 →</p> <p>○農作物獣害対策地域強化推進事業 →</p> <p>○農業委員会委員の改選 議会承認(6月) 任命(7/20) →</p> <p>○都市農業を育てる市民のつどい ○芋煮会</p>						
	事業の成果(実績)	<p>①優良農地育成事業補助では、農業施設等の導入補助により生産性の向上と近代化を図るとともに、農地保全を推進した。②農作物獣害対策地域強化推進事業では、三鷹市鳥獣被害対策マニュアルの作成・配布及び農作物獣害対策講習会(座学・現地巡回指導)の開催により、農業者の獣害防止対策の意識啓発を図った。③改正農業委員会法の規定に従い、市長が、議会の同意を得て、農業委員20人を任命した。④JAと共催した「都市農業を育てる市民のつどい」や、三鷹市都市農業市民交流会と共催した「収穫体験と芋煮会」を通じて、参加者に都市農業の役割や実状を理解していただく機会となった。</p>																		
	事業の総括(主管課)	<p>優良農地育成事業は、農業施設等の導入補助による農業者の経営力を強化及び農地の保存協定締結による農地保全推進を図ることができたが、申請者数及び補助金要望額が予算を大幅に超えたことから、1件あたりの補助額は7割程度に減額となったため、今後は事前の事業要望の把握に努めることとする。農作物獣害対策地域強化推進事業では、農業者の獣害防止対策の意識が向上したことから、今後、獣害被害抑制のための具体的な事業に取り組む。また、都市農業を育てる市民のつどいなどの市民と農とのふれあいの場の提供については、引き続き実施し「農のあるまちづくり」を推進していく。</p>																		
	事業評価審査会評価・意見等					予算執行	29年度当初				29年度実績									
						予算額				66,784千円				66,784千円						
						決算額				66,770千円				66,770千円						
						執行率(%)				100.0%				100.0%						
主管課評価	1	事業評価審査会評価				1	<p>S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)</p>													

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		ものづくり産業等の集積・強化及び都市型産業誘致の推進										個別事業掲載No	生 — 3	
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>東京都の補助制度を活用し、事業者の市内工業系用途地域等への移転に伴う新工場整備費用や住工混在地区における周辺環境へ配慮した工場の改修などに係る費用への補助を行うほか、「三鷹市都市型産業誘致条例」の周知活動を強化し、市内での操業継続や優良企業の誘致を推進する。市が所有する日本無線㈱三鷹製作所の跡地については、市内事業者の操業支援に向けて、プロポーザル方式による売却先事業者の選定を行う。また、事業者相互の繋がりを生み出すため、交流会などの実施により、若手経営者を中心としたネットワークの構築を支援するほか、フリーランスやSOHO事業者等への経営支援として、ミタカフェ（コワーキングスペース、レンタルデスク等）の運営を支援する。さらには、国の「地方創生推進交付金」を活用し、ものづくりを中心としたコミュニティづくりを目指す三鷹産業プラザ内のファブスペースみたかにおいて、多様な働き方の創出に向けた検討・支援を行う。</p> <p>【事業量】</p> <p>・ものづくり産業集積促進事業助成金 1社 ・ものづくり企業立地継続支援事業助成金 6社 ・日本無線㈱跡地の売却事業者の決定 ・都市型産業誘致条例に基づく新規指定企業及び指定誘致協働事業者数 各1社</p>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	事業の成果（目標）	<p>○ものづくり産業集積促進事業・ものづくり企業立地継続支援事業の推進 →</p> <p>○ファブスペースみたかの運営 →</p> <p>○日本無線㈱跡地プロポーザルの実施 ← → 業者決定 →</p> <p>○ミタカフェ運営 →</p> <p>・ものづくり産業の市内移転を含む操業継続（7社）・優良企業の誘致（指定企業1社、協働事業者1社）・平成29年度末に日本無線㈱三鷹製作所跡地の売却先事業者を決定・若手経営者を中心とした事業者間の連携のためのネットワーク構築・SOHOを含む多様な起業の促進、多様な働き方支援によるライフ・ワーク・バランスの推進</p>												
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>ものづくり企業立地継続支援事業については、申請に関する相談が5件あり、引き続き補助金活用に向けた事業者との調整を行う。都市型産業誘致条例に基づく指定実績はなかったが、指定申請に関する問い合わせ1件に対応するとともに、指定事業者3社5件に対して補助金の交付手続きを進めた。日本無線㈱三鷹製作所跡地については、関係部署と連携し、平成30年1月に実施予定のプロポーザルに向けた準備を進めた。また、若手経営者を中心としたネットワークの構築支援を行い、三鷹商工会内に「ものづくり産業活性化ネットワーク委員会」が設置された。さらにはフリーランスやSOHO等の支援や多様な働き方の創出に向けて、ミタカフェ、ファブスペースみたかの運営を行った。</p>												
	事業評価審査会 特記意見	地域再生計画のKPI（重要業績評価指標）を意識した事業展開を検討することが望ましい。			政策会議 評価・意見等			重点事業とする。						
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								
事後評価	実績	<p>・ものづくり産業集積促進事業：0件 ・ものづくり企業立地継続支援事業：1社（設備更新 防音）</p> <p>・ファブスペースみたかの運営 会員数228人、みたかFabコンテストの出品者40人</p> <p>・ミタカフェ（コワーキング）利用者の増加・・・利用者数計5,602人 ※平成28年度4,969人</p> <p>・日本無線㈱三鷹製作所跡地C地区購入事業者選定に係るプロポーザル実施 一部区画の売却予定者決定</p> <p>・平成29年5月に三鷹商工会内に「ものづくり産業活性化ネットワーク委員会」が設置され、市内外への視察を行った。</p>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	事業の成果（実績）	<p>・ものづくり産業等の集積・強化事業については、事業継続のための改修工事や移転に伴う費用を支援する「ものづくり企業立地継続助成金」を活用した設備更新（防音）を1事業者が行うとともに、都市型産業誘致条例に基づき、既に指定している3事業者（5件）への支援と1事業者を新規に指定企業として指定した。</p> <p>・ファブスペースみたかやミタカフェ（コワーキングスペース）の運営によりSOHOを含む多様な起業支援を推進するとともに、ライフステージに応じた働き方の実現への支援を通じて、ライフ・ワーク・バランスの推進を図った。</p> <p>・日本無線㈱三鷹製作所跡地C地区購入事業者選定プロポーザルでは、4区画中3区画の売却予定者を決定した。残る1区画については、平成30年度に2回目の公募型プロポーザルを実施予定。</p>												
	事業の総括（主管課）	<p>三鷹市ものづくり企業立地継続支援事業については、目標には達しなかったが引き続き市内ものづくり産業の操業継続を推進する。また、都市型産業誘致条例に基づき1事業者を新規に指定企業として指定しほぼ計画通りに都市型産業の集積を図った。さらに、ものづくりを核としたコミュニティづくりのためのスペースであるファブスペースみたかの運営やFabコンテストを開催し、ミタカフェ運営と合わせて、新しい働き方を模索する創業希望者やSOHO事業者等への効果的な支援を行うことができた。日本無線㈱三鷹製作所跡地C地区については、用地の売却について一部翌年度に繰り越したが、全区画の平成30年10月の引渡しに向け引き続き取り組んでいく。</p>												
事業評価審査会 評価・意見等				予算執行			29年度当初		29年度実績					
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	予算額			149,702千円		144,922千円					
				決算額					110,424千円					
				執行率（%）					76.2%					
				S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）										

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		観光振興施策の推進											個別事業 掲載No	生 — 4		
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>平成28年度に策定した「三鷹市観光基本方針」に基づき、NPO法人みたか都市観光協会を中心に、市民、事業者、三鷹商工会や市内商店会といった関係団体などが取り組む観光関連事業を支援する。特に、50周年を迎える三鷹阿波おどり大会や三鷹の森フェスティバルを拡充する形で市が協力する井の頭恩賜公園100年事業などの円滑な実施を支援する。また、三鷹を訪れる外国人を含む観光客の受入れ環境について、サイン整備や外国人観光客向けの多言語による観光マップ（三鷹駅前前の和食店など）の作成支援など、庁内関連部署、観光協会、三鷹商工会、公益財団法人三鷹国際交流協会などの関連団体や市民と連携を図りながら推進する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三鷹の森フェスティバルの開催（5月） 三鷹阿波おどり大会の開催（8月） 多言語による観光マップの作成支援 みたか都市観光協会への支援 														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
		<p>○三鷹の森フェスティバルの開催</p> <p>○三鷹阿波おどり大会の開催</p> <p>○多言語による観光マップの作成支援 ←————→</p> <p>○みたか都市観光協会への支援 ←————→</p>														
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 「三鷹市観光基本方針」に基づく、市民、関係団体、市などの協働による多様な観光振興事業の推進 三鷹の森フェスティバルの開催 三鷹阿波おどり大会の開催 多言語による観光マップ（英語、中国語、韓国語計30,000部）の製作 みたか観光案内所訪問者数 30,000人 														
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>5月5日に「井の頭恩賜公園100歳記念ウィーク」の「三鷹DAY」として、三鷹の森フェスティバル2017を開催するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成に向けたオリンピック・パラリンピックフラッグを使用したセレモニーも同会場にて実施した。当日は、TAKA-1認定商品の販売ブースや姉妹・友好市町の出店（矢吹町・遠野市・鷹栖町・白鷹町）もあり、約15,000人の来場があった。8月19、20日には三鷹阿波踊り50周年大会が開催され、初日は荒天による一部縮小もあったが、2日目は通常どおり中央通りでの流し踊りに加えて特設会場（さくら通り駐車場）でのイベントが実施された。多言語による観光マップについては、ベーシック版（韓国語）・和食版（中国語版）・英語対応可能店マップ（仮）の発行に向けて、作成準備を進めた。</p>														
	事業評価審査会特記意見												政策会議 評価・意見等	重点事業とする。		
	主管課評価	1	事業評価審査会評価											1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする	
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> 5月5日 三鷹の森フェスティバル開催（井の頭恩賜公園100歳記念ウィーク・三鷹DAY） 8月19・20日 三鷹阿波おどり50周年大会 ベーシックインフォメーションマップ（韓国語版）、和食マップ（中国語版）、おもてなしマップ（英語版）各5,000部作成 みたか観光案内所訪問者数（平成29年度） 26,712人 														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
		<p>○三鷹の森フェスティバルの開催</p> <p>○三鷹阿波おどり大会の開催</p> <p>○多言語による観光マップの作成支援 ←————→</p> <p>○みたか都市観光協会への支援 ←————→</p>														
	事業の成果（実績）	<p>5月5日の「井の頭恩賜公園100歳記念ウィーク」の「三鷹DAY」に合わせ例年10月に実施している三鷹の森フェスティバル2017を開催し、例年を大きく上回る約15,000人が来場した。8月19日、20日には三鷹阿波おどり50周年大会が開催され、初日は荒天により一部中止となったが、2日目は50周年記念特別会場（さくら通り駐車場）を含め、多くの来場者を楽しんでいた。多言語による観光マップについては、ベーシックインフォメーションマップ（韓国語版）、和食マップ（中国語版）、おもてなしマップ（英語版）を各5,000部作成した。</p>														
	事業の総括（主管課）	<p>三鷹の森フェスティバルは、井の頭恩賜公園100歳記念ウィークの一環に位置付けられたこともあり、多くの来場者を迎え大変盛況だった。平成30年度以降の開催方法については、みたか都市観光協会、ジブリ美術館と検討する。三鷹阿波おどり大会は、50周年記念で一区切りを迎えることができ、引き続き阿波踊り振興会の活動を支援していく。また、ラクビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、多言語化によるマップ作成支援（継続拡大）や設立10周年を迎えるみたか都市観光協会の記念事業への支援等を行うとともに、近隣市との市民交流人口の拡大を目指す武蔵野・三鷹・小金井魅力向上プロジェクトに新たに取り組んでいく。</p>														
事業評価審査会評価・意見等												予算執行	29年度当初	29年度実績		
												予算額	19,066千円	19,066千円		
												決算額		17,858千円		
												執行率（%）		93.7%		
主管課評価	1	事業評価審査会評価											1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）		

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		買物環境の整備										個別事業 掲載No	生 — 5	
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 公募等によって選定された協議会（商店会単位）が、各地域の特性に合わせて検討した事業を行うにあたり、市を含む関係7団体で構成した買物支援事業本部が支援を行う。また、各協議会の活動内容やノウハウの共有を図るとともに、商店数が少ない大沢地域について、従来からの商店街振興のアプローチに加えて、市の福祉部局や地域ケアネット等の地域団体、コンビニ・生協等の地域の実情に詳しい事業者等とも幅広く情報共有を進め、市民や事業者による支えあいの仕組みを活かしながら、共同購入・宅配など既存サービスの周知と利用促進、買物応援キャラバン隊等を活用したマルシェの開催など、遠方への外出が難しい買物困難者への支援も視野にいたれた買物環境の整備を支援、推進する。</p> <p>【事業量】 ・買物支援本部会議の開催（2回） ・各協議会の支援 ・協議会の募集 ・買物キャラバン隊の募集 ・地域団体等と連携した本部事業の検討・実施</p>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	スケジュール	○買物支援本部会議の開催(第1回)						○買物支援本部会議の開催(第2回)						
		○協議会の募集、支援						→						
○キャラバン隊の募集						→								
事業の成果(目標)	・協議会の増加(1地区) ・買物キャラバン隊の拡充(2店舗) ・消費者の利便性向上及び地域商店会の活性化													
中間評価	上半期の実績・課題等	6月に第1回買物支援事業本部会議を開催し、平成28年度の事業報告及び平成29年度の取り組み方針を決定した。新たな本部事業として、大沢地域で平成28年度に「地域ケアネットワーク・大沢」の協力を得て実施した住民アンケート調査等に基づき、民間の移動販売車や宅配サービス等の活用の可能性を検証するため、それらを集めた市（マルシェ）の開催の具体的な検討を開始した。開催に向けては、地元のお店や事業者等に丁寧に事業説明を行うとともに、地域ケアネットワーク・大沢等の地域団体や市の地域福祉課とも情報共有・連携を行い、地域自らが取り組んでいる活動との相乗効果が得られるよう努めることとする。												
	事業評価審査会特記意見							政策会議 評価・意見等	重点事業とする。					
	主管課評価	1	事業評価審査会評価						1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする				
事後評価	実績	・買物支援本部会議開催 3回 ・買物支援実施協議会の募集 新たに三鷹コラル協議会が参加 ・買物応援キャラバン隊の募集 店舗数増減なし、件数2件減（計39店舗 45件） ・本部事業として、地域ケアネットワーク・大沢と連携して民間の移動販売車の先行事例視察実施												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	スケジュール	○協議会の募集						→						
		○買物支援本部会議開催(第1回)						○本部会議開催(第2回)		○本部会議開催(第3回)				
	事業の成果(実績)	協議会事業（連じやく朝市開催4回、消研だいいち開催11回、あおやぎ市開催4回、三鷹台100円商店街3回）への支援を行い、消費者と商店の相互理解や利用促進が図られた。 そのほか、商店数が少ない大沢地域については関係7団体の職員による、地域ケアネットワーク等の地域団体やケアマネジャー等の福祉関係者と情報交換を重ね、移動販売車や宅配等の導入可能性について検討し、課題を明らかにすることができた。												
	事業の総括(主管課)	協議会が実施する事業への支援と買物支援本部が直接実施する事業を併せて行うことにより、地域商店会の活性化と消費者の利便性向上に寄与した。大沢地域においては、多様な買物支援策を組み合わせることで導入することや気運醸成を図ることが重要であるとの共通認識が地域団体等ともとれたことから、次年度以降も引き続き地域団体、事業者、庁内の福祉部局等と連携し、地区特性に応じた買物環境の整備を推進する。												
事業評価審査会評価・意見等	買物環境の整備については、これまでの課題等を整理・検証し、今後の整備方針を明確にして取組みを進めることが望ましい。						予算執行	29年度当初		29年度実績				
							予算額	3,841千円		3,841千円				
							決算額			3,841千円				
							執行率(%)			100.0%				
主管課評価	1	事業評価審査会評価						1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)					

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		「サステナブル都市三鷹」の実現に向けた研究の推進										個別事業 掲載No	生	—	6																																																															
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>「サステナブル都市三鷹」の実現に向け、サステナブル都市政策検討チームにおいて、「環境保全」「緑・農地の保全」「経済発展」「社会・文化」「交通・エネルギー」の5つの視点を包含したサステナブル政策事業を、引き続き検討する。</p> <p>平成29年度は、サステナブル都市政策検討チームからの提案を受け新たなサステナブル政策事業の検討を進める。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サステナブル都市政策検討チーム会議の開催（検討会議3回、講演会1回） ・各ワーキングチーム会議（視察を含む）を適宜開催 ・サステナブル都市政策検討チーム第6次報告書の作成 																																																																												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																	
	事業の成果（目標）	<p>新たなサステナブル政策事業の検討進め、「サステナブル都市三鷹」を実現する。</p> <p>平成29年度末を目途に検討結果を「サステナブル都市政策検討チーム第6次報告書」に取りまとめる。</p>																																																																												
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>プロジェクト・チームメンバーを選定し、6月に第1回サステナブル都市政策検討チーム会議を開催した。会議では、「フードロス対策推進事業」「地域の生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた検討」の2つの新規事業の検討を進めることとした。8月に新規2事業のワーキング・チームを編成し、ワーキングチーム会議を開催した。会議では、各事業テーマの理解と目標を確認した。下半期では、各チームで検討を進め、成果を報告書にまとめていく。</p>																																																																												
	事業評価審査会特記意見	<p>重点事業とする。</p> <p>フードロス対策については、年度内を目途に具体的な方向性を報告するなど事業の加速化を図り、三鷹らしい事業展開を推進すること。</p>																																																																												
主管課評価		1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																																																																								
事後評価	実績	<p>プロジェクト・チーム検討会議：開催3回 講演会：開催1回</p> <p>「フードロス対策推進事業」：会議開催5回、視察4回（平成30年度継続検討）</p> <p>「地域の生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた検討」：会議開催5回、視察1回（平成30年度継続検討）</p> <p>平成29年度の検討結果をサステナブル都市政策検討チーム第6次報告書に取りまとめた。</p>																																																																												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																	
	事業の成果（実績）	<p>①「フードロス対策推進事業」は、ごみ減量につながる「啓発」と資源の「活用」の2つの対策があり、その内容について検討を行った。平成30年度は「活用」について、より具体的な内容について引き続き検討を行う。②「地域の生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた検討」は、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する方策について検討を行った。平成30年度は三鷹ならではの施策展開や事業化の検討を行う。</p>																																																																												
	事業の総括（主管課）	<p>新規2事業については、ワーキングチームによる「現状把握」「調査・研究」「事業化に向けた検討」を行い、報告書に取りまとめた。平成30年度はこのうち「フードロス対策推進事業」において、「啓発」として「食べきり運動」を位置づけ、キャンペーンなどを活用して市民及び事業者へ周知を図るとともに、「活用」としては「フードバンク事業」等について具体的な検討を行うこととした。「地域の生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた検討」については、既存事業に生物多様性の視点を加えたパンフレットの作成を検討していく。また、これまでに事業化した事業の検証を行う。</p>																																																																												
	事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">予算執行</th> <th colspan="5">29年度当初</th> <th colspan="5">29年度実績</th> </tr> <tr> <td colspan="5">37千円</td> <td colspan="5">37千円</td> </tr> <tr> <td colspan="5">34千円</td> <td colspan="5">91.9%</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td colspan="5"></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td colspan="5"></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>執行率 (%)</td> <td colspan="5"></td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table>														予算執行	29年度当初					29年度実績					37千円					37千円					34千円					91.9%					予算額											決算額											執行率 (%)									
予算執行	29年度当初					29年度実績																																																																								
	37千円					37千円																																																																								
	34千円					91.9%																																																																								
予算額																																																																														
決算額																																																																														
執行率 (%)																																																																														
主管課評価		1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																																																																								

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹「まち活」塾の実施支援	個別事業掲載No	生 — 7
-----	---------------	----------	-------

当初計画	【事業概要】 NPO法人みたか市民協働ネットワーク及びNPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構の協働による三鷹「まち活」塾の開催にあたり、適切な協力や助言など必要な支援を行う。講座（全8回）については、地域活動に必要なノウハウの学習や実際の活動体験、プランづくりなどを通して、地域づくりを担う新しい人財の養成や地域活動に関心のある市民同士の交流・仲間づくりの推進を図る。
	【事業量】 ・講座開催にあたり、適切な協力や助言など必要な支援の実施 ・講師依頼 ・講座参加者の募集
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○受講者申込開始 ○講師依頼 ○講座①②③④⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ○評価・検証
事業の成果（目標）	・地域活動を実践する修了者30人

中間評価	上半期の実績・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者30人 ・NPO法人みたか市民協働ネットワーク賛助会員の申込者あり（1人） ・スケジュールどおり講座を実施しているが、修了者（全8回中6回以上出席）は目標を下回る見込みである。 		
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等		
	主管課評価	2	事業評価審査会評価	2

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> ①受講生30人のうち6割強が10～40代の若い世代、修了者は20人 ②5つの自主グループを結成（居場所づくり、オリンピック・パラリンピック関係、商店会活性化、共生社会、アート関係） ③庁舎・議場棟建替えのまちづくりディスカッションのまちづくり実行委員会の委員29人のうち修了者6人が参加 											
	スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○受講者申込開始 ○講師依頼 ○講座①②③④⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ○評価・検証											
	事業の成果（実績）	10～40代の若い世代を中心とした受講生30人が応募し、そのうち20人が修了生となった。修了生は、5つの自主グループを結成し、地域のまちづくりを担う活動をスタートさせた。また、「三鷹市庁舎・議場棟等建替え基本構想」策定に向けた「みたかまちづくりディスカッション」の実行委員会の委員29人のうち修了者6人が参加するなど、まちづくりの新たな人財として活躍した。											
	事業の総括（主管課）	NPO法人みたか市民協働ネットワーク及びNPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構と連携・協働により、地域人財の育成として、スケジュールどおり実施し、上記のような一定の成果も挙げた。 平成30年度は修了生が地域活動を継続して実施できるよう、新たに前年度修了生向けのフォローアップ講座を開催するとともに、自主グループの支援を図っていく。また、講座も新たに実績のある優秀な講師を招き、内容を充実して実施する。											
	事業評価審査会評価・意見等	予算執行	29年度当初		29年度実績								
		予算額	500千円		500千円								
		決算額			500千円								
		執行率（%）			100.0%								
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	井の頭コミュニティ・センター図書室と市立図書館との連携 推進	個別事業 掲載No	生 — 8
-----	-----------------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成28年3月に三鷹市井の頭地区住民協議会、市、市教育委員会の間で締結されたパートナーシップ協定に基づき、利用者サービスの一層の向上を図るため、市立図書館の資料管理システムを導入し、平成29年7月に蔵書の相互流通の連携を開始する。</p> <p>【事業量】 住民協議会職員への研修の実施（5～6月に複数回実施予定） 司書（嘱託員）への研修の実施（7月以降に実施予定）</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	<p>住協職員への研修の実施 ←→</p> <p>司書（嘱託員）への研修の実施、人財育成 →</p> <p>システム導入工事の実施 ←→</p> <p>○7月以降連携の開始 →</p> <p>推進 →</p> <p>・図書館機能の拡充、司書等の資質の向上など利用者サービスの充実 ・利用者数25,000人、貸出者数14,000人、貸出冊数45,000冊</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	図書館のシステム導入及び図書準備や住協職員及び司書(嘱託員)の研修を実施した。7月20日に井の頭コミュニティ・センター図書室のリニューアルオープンセレモニー及び見学会を開催し、蔵書の相互流通の連携を開始した。											
	事業評価審査会特記意見	政策会議評価・意見等											
	主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<p>・図書館のシステム導入及び図書準備や住協職員及び司書(嘱託員)の研修の実施</p> <p>・井の頭コミュニティ・センター図書室のリニューアルオープンセレモニー及び見学会の開催（平成29年7月20日）</p> <p>・蔵書の相互流通の連携開始</p> <p>・利用者数、貸出者数、貸出冊数の増</p>																												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																	
	事業の成果（実績）	<p>・図書館機能の拡充、司書等の資質の向上など利用者サービスの充実の実現</p> <p>・利用者数（来館者数）32,013人、貸出者数15,369人、貸出冊数49,377冊（数値はいずれも連携開始後の達成）</p>																												
	事業の総括（主管課）	市立図書館、住民協議会等との事前の綿密な調整等により、円滑にシステム連携の開始をスタートさせることができた。蔵書の相互流通の連携に加え、「神沢利子さんのおくりもの展」を図書室でも開催するなど事業の連携も開始した。数値目標についても、新たに配置した司書等による円滑な運営により、利用者数、貸出者数及び貸出冊数については、いずれも目標数を達成することができた。																												
	事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算執行</td> <td colspan="2">29年度当初</td> <td colspan="2">29年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>7,309千円</td> <td>7,309千円</td> <td>7,309千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td></td> <td>6,499千円</td> <td>6,499千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td></td> <td>88.9%</td> <td>88.9%</td> </tr> </table>												予算執行	29年度当初		29年度実績		予算額	7,309千円	7,309千円	7,309千円	決算額		6,499千円	6,499千円	執行率(%)		88.9%	88.9%
	予算執行	29年度当初		29年度実績																										
予算額		7,309千円	7,309千円	7,309千円																										
決算額			6,499千円	6,499千円																										
執行率(%)			88.9%	88.9%																										
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																										

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	ごみの発生・排出抑制の拡充	個別事業 掲載No	生 — 9
-----	---------------	--------------	-------

当初計画	【事業概要】 汚れたプラスチック類の分別方法の変更に対応するため、ごみ分別アプリの普及等による適正なごみ分別の一層の徹底を進めるとともに、ごみ減量等推進会議や市民ボランティアとの協働によるごみの減量、資源化に向けた各種キャンペーン等に取り組む。また、東京2020大会組織委員会等が主催する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に協力し、さらなる小型家電の回収を推進する。
	【事業量】 ・ごみ減量等推進会議の開催（年4回） ・各種キャンペーンの実施（年7回） ・まち美化パトロールによる分別、環境美化指導の実施 ・分別方法、ごみ出しルールの周知
	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
	【ごみ減量等推進会議】 ○代表者会議 ○改選総会 ○代表者会議 視察○ 総会○ 【キャンペーン等】 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ← 分別・ごみ出しルールの周知、ごみ分別アプリの周知 →
事業の成果 (目標)	・ごみ分別アプリのダウンロード件数 累計4,500件 ・一人一日あたりのごみ総排出量 700g ・ごみ処理及びリサイクル情報の公表 ・日本容器包装リサイクル協会のプラスチックベール品質評価Aランク取得

中間評価	上半期の 実績・課題等	ゴミゼロキャンペーン、ごみ減量キャンペーンを実施し、ごみ減量・資源化のPRを行った。また、7月5日に、ごみ減量等推進会議改選総会を開催し96名の市民に委員を依頼した。「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」では、市立図書館及び市内大学（杏林大学、ルーテル学院大学）に携帯電話用回収BOXを設置した（市内回収実績H29.4～8、携帯電話57kg、その他家電875.5kg、合計932.5kg）。ごみ分別アプリのダウンロード数は、4月から8月の5か月で1,845件、累計4,748件となった。また、汚れたプラスチックの分別方法の変更については、コミュニティセンターまつり等で周知を図った。
	事業評価 審査会 特記意見	政策会議 評価・意見等 推進事業とする。
	主管課評価	1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績	・ごみ減量等推進会議 代表者会議（4月）、改選総会（7月）、代表者会議（8月）、総会（3月） ・ゴミゼロ、不法投棄防止キャンペーン（5月 推進員51人、ボランティア48人）、ごみ減量キャンペーン（7月 推進員53人、ボランティア56人）、マイバックキャンペーン（10月 推進員39人、ボランティア21人）、喫煙マナーアップキャンペーン（11月 推進員40人、ボランティア等33人）	
	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月		
	【ごみ減量等推進会議】 ○代表者会議 改選総会○ 視察○ ○代表者会議 総会○ 【キャンペーン等】 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ← 分別・ごみ出しルールの周知、ごみ分別アプリの周知 →		
	事業の成果 (実績)	・ごみ分別アプリのダウンロード件数 累計7,233件 ・一人一日あたりのごみ総排出量 695g ・ごみ処理及びリサイクル情報の公表の実施（広報みたか、市ホームページ、ごみ分別アプリ） ・日本容器包装リサイクル協会のプラスチックベール品質評価 Aランク取得の達成	
	事業の総括 (主管課)	平成29年4月から汚れたプラスチック類を可燃ごみに分別変更し、収集されるプラスチック類の品質の向上を図るとともに、「ごみ分別アプリ」の普及促進や、ごみ減量等推進会議等との協働による各種キャンペーンの実施によりごみの減量・資源化を推進した。また、東京2020大会組織委員会等が主催する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に協力し、イベントでの回収や新たな回収場所の拡大など小型家電の回収を推進した。	
事業評価 審査会 評価・意見等	予算 執行	29年度当初	29年度実績
	予算額	4,758千円	4,758千円
	決算額		3,701千円
	執行率(%)		77.8%
主管課評価	1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）		

平成29年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		環境センター跡地の利活用の検討										個別事業 掲載No	生 — 10
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成28年度に実施した土壌調査結果等踏まえ、敷地内のアスファルト被覆工事を実施する。当面の暫定利用及び将来の活用の方法について、庁内の「環境センター跡地利活用検討推進チーム」において総合的に検討を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土壌調査結果を踏まえた工事設計 ・敷地内のアスファルト被覆工事の実施 ・庁内検討チームの開催（5回） <p style="text-align: right;">・暫定利用及び将来の活用の検討</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	スケジュール	土壌調査結果を踏まえた工事設計 →			工事説明会 ○ ←			← アスファルト被覆工事 →					
	スケジュール	○ ← 暫定利用及び将来の活用方法の検討			○ ←			○ →					
事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌調査結果を踏まえたアスファルト被覆工事設計等の実施 ・アスファルト被覆工事による土壌対策の実施 ・暫定的な利用及び将来の活用についての検討 												
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>検討チーム会議は、8月までに3回開催し、アスファルト舗装工事や暫定利用等について検討を進めた。アスファルト舗装工事については、詳細設計を実施した結果、排水能力が基準に達しないことが判明したことから、敷地内の排水処理能力を向上するための対応を図ることとした。9月に施工事業者を決定し、アスファルト舗装工事を進めるとともに、年度末までに敷地内の地下水に汚染がないことを確認するため地下水分析を実施する。</p>											
	事業評価審査会特記意見			政策会議 評価・意見等		重点事業とする。							
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							
事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌調査結果を踏まえた工事設計（～平成29年6月） ・敷地内のアスファルト被覆工事の実施（平成29年9月～平成30年3月） ・庁内検討チームの開催（4回） <p style="text-align: right;">・暫定的利用及び将来の活用の検討</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	スケジュール	○ ← 暫定利用手法検討			○ ←			○ ← 工事説明会					
	スケジュール	○ ← 暫定利用手法検討			○ ←			○ ← 工事説明会					
	スケジュール	○ ← 暫定利用手法検討			○ ←			○ ← 工事説明会					
事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌調査結果を踏まえたアスファルト被覆工事設計等の実施 ・アスファルト被覆工事による土壌対策の実施（周辺住民の安全安心の確保の実現） ・暫定的利活用及び将来の活用についての検討（市民の余暇活動等の向上に向けた取り組み） 												
事業の総括（主管課）	<p>環境センター跡地については、土壌調査の結果、一部に土壌環境基準を超過した区画があったことから、平成29年5月に東京都より「形質変更時要届出区域」に指定された。周辺環境への配慮及び安全確保に向け、敷地内の約6,500㎡をアスファルトで被覆する工事を実施し、平成30年3月に竣工した。環境センター跡地利活用検討推進チームにおいて、当面の間の暫定利活用や将来的な活用に向けた検討を行った。平成30年度は、健康憩い広場やボール遊び広場など、市民の余暇活動の充実に資する施設の暫定整備（設計・施工）を行う。</p>												
事業評価審査会評価・意見等			予算執行			29年度当初			29年度実績				
事業評価審査会評価・意見等			予算額			77,876千円			85,370千円				
事業評価審査会評価・意見等			決算額						85,080千円				
事業評価審査会評価・意見等			執行率（%）						99.7%				
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）								